

# 鳥取県の推計人口（年報）

【令和5年10月～令和6年9月】

鳥取県人口移動調査において、1年間（令和5年10月～令和6年9月）の状況を下記のとおり取りまとめました。

記

## I 鳥取県の推計人口

鳥取県の推計人口は531,085人、前年に比べ6,233人減少し、平成8年以降29年連続の減少

令和6年10月1日現在の鳥取県の推計人口は531,085人で、前年に比べ6,233人減少し、世帯数は222,060世帯で、前年に比べ280世帯増加した。

年	人口（人）			人口性比 (男性/女性) ×100	世帯数（世帯）	1世帯当たりの 人員（人）
	総数	男	女			
令和6年(a)	531,085	254,153	276,932	91.8	222,060	2.39
令和5年(b)	537,318	257,165	280,153	91.8	221,780	2.42
対前年差(a-b)	-6,233	-3,012	-3,221	0.0	280	-0.03

老年人口は163人減少し、2年連続の減少

年齢3区分別の構成割合は、年少人口は12.0%、生産年齢人口は54.1%で、ともに過去最低、老年人口は33.9%で過去最高

年齢3区分別の人口を前年と比べると、年少人口は1,701人減少、生産年齢人口は4,369人減少し、老年人口は163人減少した。

区分	人口（人）	構成割合（%）	対前年増減（人、ポイント）	
年少人口（0～14歳）	62,679	12.0	-1,701	-0.2
生産年齢人口（15～64歳）	283,126	54.1	-4,369	-0.2
老年人口（65歳以上）	177,251	33.9	-163	0.4
うち75歳以上	99,710	19.1	3,001	0.8

## II 人口動態

自然増減は4,931人の減少となり、平成10年以降27年連続の減少

社会増減は1,302人の減少となり、平成13年以降24年連続の減少

1年間の人口増減のうち、自然増減は4,931人の減少、社会増減は1,302人の減少で、合計6,233人の減少となり、人口増減の減少幅は前年に比べ64人の縮小となった。

自然増減は平成10年以降27年連続の減少となり、減少幅は前年に比べ12人拡大した。

社会増減は平成13年以降24年連続の減少となり、減少幅は前年に比べ76人縮小した。

県外転入者数は9,616人で前年に比べ4人増加し、県外転出者数は10,918人で前年に比べ72人減少した。

(単位:人)

区分	人口増減	自然増減			社会増減		
		自然増減	出生	死亡	社会増減	県外転入	県外転出
令和6年(a)	-6,233	-4,931	3,125	8,056	-1,302	9,616	10,918
令和5年(b)	-6,297	-4,919	3,462	8,381	-1,378	9,612	10,990
対前年差(a-b)	64	-12	-337	-325	76	4	-72

注) 自然増減とは出生と死亡による人口の増減をいい、社会増減とは県外転入と県外転出による人口の増減をいう。

出生数は3,125人となり、昭和50年以降で過去最少を更新  
死亡数は8,056人となり、2年連続8,000人を超過

出生数は、令和6年は3,125人で前年に比べ337人減少し、過去最少を更新した。

昭和50年の8,735人から概ね減少傾向であり、昭和63年に7,000人を割り込み6,000人台となり、平成5年に5,000人台、平成21年に4,000人台、令和2年からは3,000人台となっている。

死亡数は、平成2年ごろまでは5,000人前後で推移していたが、それ以降は増加傾向となり、平成15年には6,000人台、平成25年に7,000人台、令和5年に8,000人台となり、令和6年は8,056人で前年に比べ325人減少したが、2年連続8,000人を超過した。

### Ⅲ 市町村別推計人口

#### 1 市町村別の推計人口

推計人口が最も多いのは鳥取市の182,207人、最も少ないのは江府町の2,383人

市町村別で推計人口が最も多いのは鳥取市の182,207人、次いで米子市の144,004人であり、最も少なかったのは江府町の2,383人、次いで若桜町の2,493人であった。

#### 2 年齢3区分別人口

##### (1) 年少人口

前年と比べると、年少人口は19市町村すべてで減少  
年少人口割合は14市町で低下

年少人口は前年に比べ19市町村すべてで減少した。

年少人口割合は日吉津村の15.0%が最も高く、次いで湯梨浜町の14.1%であった。

前年と比べると、日吉津村、大山町及び日南町の3町村で上昇し、岩美町及び八頭町の2町で同水準、鳥取市など14市町で低下した。

##### (2) 生産年齢人口

前年と比べると、生産年齢人口は19市町村すべてで減少  
生産年齢人口割合は17市町村で低下

生産年齢人口は前年に比べ19市町村すべてで減少した。

生産年齢人口割合は米子市の56.9%が最も高く、次いで鳥取市の56.6%であった。

前年と比べると、境港市及び若桜町で同水準、鳥取市など17市町村で低下した。

##### (3) 高齢人口

前年と比べると、老年人口は5市町村で増加、北栄町で増減なし、その他の市町で減少  
老年人口割合は18市町村で上昇

老年人口は前年に比べ鳥取市で189人、米子市で45人、岩美町で18人、伯耆町で5人及び日吉津村で3人増加、北栄町で増減なし、その他の市町で減少した。

老年人口割合は日南町の55.9%が最も高く、次いで日野町の54.0%であった。

前年と比べると、鳥取市など18市町村で上昇し、若桜町で同水準であった。

#### IV 市町村別人口動態

##### 人口増減は19市町村すべてで減少

人口増減は、19市町村すべてで減少した。最も減少したのは鳥取市の1,925人、次いで米子市の1,117人であった。

##### 自然増減は19市町村すべてで減少

自然増減は、19市町村すべてで減少した。最も減少したのは鳥取市の1,377人、次いで米子市の855人であった。

##### 社会増減は4市町で増加し、15市町村で減少

社会増減は、境港市87人、江府町11人、智頭町8人、岩美町7人の4市町で増加し、15市町村で減少した。最も減少したのは鳥取市の548人、次いで米子市の262人であった。

##### 県外転入者で最も多いのは、島根県から米子市への681人

##### 県外転出者で最も多いのは、米子市から島根県への578人

県外転入者は島根県から米子市への681人が最も多く、次いで外国から鳥取市への533人であった。

県外転出者は米子市から島根県への578人が最も多く、次いで鳥取市から大阪府への504人であった。

(単位:人)

都道府県	転入					転出				
	総数	鳥取市	米子市	琴浦町	その他	総数	鳥取市	米子市	境港市	その他
外国	1,431	533	315	131	452	915	340	177	83	315
島根県	1,181	681	199	128	173	1,088	578	205	95	210
大阪府	915	357	275	58	225	1,294	504	373	89	328
岡山県	773	295	265	68	145	873	308	301	102	162
兵庫県	759	350	208	39	162	984	429	259	79	217
広島県	673	273	220	55	125	750	321	268	44	117
東京都	636	244	194	49	149	1,020	368	349	68	235